

第3回多言語競演レシテーション大会

外国語学部英米学科 石原 覚

本学における外国語教育活動の一部として、多言語競演レシテーション大会が本年も開催されました。この大会は学生が本学で学習中の外国語(留学生の場合は日本語)で文学作品等の一節を暗唱し、パフォーマンスを競い合うという催しです。聴衆による投票、および審査委員会における協議で優秀者を選びます。本年度の多言語競演レシテーション大会は、昨年度同様大学祭期間中(10月30日(土))に行われる予定でしたが、あいにくの台風の接近により11月17日(水)に延期され、当日午後1時半より長久手キャンパスS201教室において開催されました。

以下ご参考までに大会実施要領の概要をお示しします。

- ・ 暗唱する者は、その言語を今年度本学で授業(全学共通・外国語科目または外国語学部専門科目)を受講し学習している学生である。
- ・ 第1部には学習1年目(当該言語圏に3ヶ月以上滞在したことがないこと)、第2部には学習2年目以上の学生が参加する。
- ・ 英語は第2部に、新英米学科、旧英文学科、旧英米学科から2件、国際関係学科とこれら新旧4学科以外の全学から1件出場できる。前者2件は、(新)英米学科、後者1件は国際関係学科が選考する。
- ・ 日本語は第2部に、留学生と協定校からの特別聴講学生から1件出場でき、日本語教員課程が選考する。
- ・ 他の言語は、第1部、第2部とも、各言語1件出場できる(専攻外国語、全学共通/一般教育を問わない)。言語ごとに窓口教員を設け、学生から参加申し込みを募り、参加者1件を選考する。フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語については、ヨーロッパ学科各専攻と中国学科が選考する。その他の言語は、窓口教員(非常勤講師が授業担当の言語は、選考は当該非常勤講師に依頼して、研究所運営委員が窓口となる)が選考する。
- ・ 1件につき暗唱時間は3分、移動・準備・片付けを含めて5分とする。その間、関連した絵や写真を投影する。効果音・BGM等を付けてもよい。規定時間内で2名以上が一つの作品を演じる場合1件として参加できる。
- ・ 聴衆には、事前にその和訳と背景など書いた資料を印刷物の形で配布しておく。映像投影・印刷物準備等を暗唱者と共同して行なう支援スタッフは、本学学生なら資格を問わない。本学授業担当教員の指導を受けてもよい。映像投影・印刷物準備は、出場者と支援スタッフで行なう。

- ・ 審査に際しては、暗唱度、表現力、映像・印刷物の準備度、仲間力等を総合的に判定する。
- ・ 参加希望の学生は、下記の言語別窓口担当教員に7月14日までに出場希望を伝える。
言語別窓口担当教員：英語：[英米学科および英文学科] 石原覚（英米学科）、[国際関係学科および全学共通・外国語科目英語受講者] 鶴殿悦子（国際関係学科）、フランス語：石野好一（フランス語圏専攻）、スペイン語：江澤照美（スペイン語圏専攻）、ドイツ語：山本順子（ドイツ語圏専攻）、中国語：中西千香（中国学科）、ポルトガル語：高阪香津美（国際関係学科）、日本語：東弘子（国際関係学科）、ロシア語：加藤史朗（国際関係学科）、カタロニア語：江澤照美（スペイン語圏専攻）、韓国語・タイ語・インドネシア語：中西千香（中国学科）、アイスランド語：櫻井健（ドイツ語圏専攻）、イタリア語・古典ギリシャ語・ラテン語：東弘子（国際関係学科）

なお、当初の開催予定日の直前である10月28日（木）午後、機材等事前チェックならびにリハーサルが行われましたが、中日新聞社によりその様子が取材され、同紙上にて報道・紹介されました。

延期された開催日は幸い好天に恵まれ、佐々木雄太学長のご挨拶に続き、直前に行われたくじ引きの結果に従い、以下の順序で演じられました。

第1部

スペイン語：柴田明里 [スペイン語圏専攻1年]

NACH “MI PAIS”（ナッチ「私の国」）

フランス語：市川絵梨、川邊祥子 [フランス語圏専攻1年]

“Le fabuleux destin d’Amélie Poulain, de Jean-Pierre Jeunet (Extrait)”

（映画『アメリ』より）

中国語：道関唯、水野夏希、堀谷あかり、宮崎将弥 [中国学科1年]

苏轼『水调歌头』（蘇軾『水調歌頭』）

カタロニア語：中島恵理奈 [スペイン語圏専攻2年]

SERGI BELBEL “Criatures”（セルジ・ベルベル「まだまだ子供だ」）

ドイツ語：内藤瑞絵、名倉麻里恵 [ドイツ語圏専攻1年]

“Fußball” aus “Turngedichte” von Joachim Ringelnatz

（ヨーアヒム・リングェルナッツ『スポーツ詩』より「サッカー」）

ポルトガル語：タイペ・マリエラ [国際関係学科2年]

“Você fala português?”（あなたが話しているポルトガル語とは？）

ロシア語：上坂勇喜 [ドイツ語圏専攻1年]

Маршак “Багаж”（マルシャーク「荷物」）

ラテン語：宗田美優、八代歩 [フランス語圏専攻2年]

“Lupus et Agnus” “Vulpis et Corvus”

(イソップ寓話より「オオカミとヒツジ」「キツネとカラス」)

第 2 部

ドイツ語：上坂勇喜 [ドイツ語圏専攻 1 年]、高橋裕子、吉田扶由、金沢里穂、牧野久美子
[ドイツ語圏専攻 2 年]

“Das Wunder des Ärgerns” von Otto Waalkes

(オットー・ヴァールケス「怒りの過程」)

日本語：金雪梅 [社会福祉学科 2 年]

高村光太郎「レモン哀歌」、金子みすず「私と小鳥と鈴と」

中国語：辻村優香 [社会福祉学科 2 年]、湯本悠 [中国学科 1 年]

徐志摩『再別康橋』(徐志摩『さよならケンブリッジ』)

スペイン語：片山将司 [スペイン語圏専攻 2 年]

PABLO NERUDA “ODA AL TOMATE”

(パブロ・ネルーダ「トマトへのオード(頌歌)」)

英語：大井笑理、岡田彩花 [英米学科 2 年]、横田恵理子 [フランス語圏専攻 2 年]

“Give Back the Human” by Sankichi Toge

(峠三吉「にんげんをかえせ」(大原三八雄訳))

“From Obama’s Speech in Prague”

(オバマ大統領のプラハ演説より)

ポルトガル語：曾根原誠 [スペイン語圏専攻 2 年]

“Eles vão de comboio, nós vamos de trem” (ポルトガル語の多様性)

フランス語：加藤江里菜、森由佳 [フランス語圏専攻 2 年]

“La Belle au bois dormant, de Charles Perrault (Extrait)”

(シャルル・ペロー『眠りの森の王女』より)

英語：寺本美波、安江若菜、山口百合 [英米学科 1 年]

“The Final Speech of *The Great Dictator*” (『独裁者』最後の演説)

英語：伊藤亜衣、加藤佳子、ラジャイ麗良 [国際関係学科 1 年]、千賀汀夏 [看護学科 2 年]

Edward Lear “A Nonsense Alphabet” (エドワード・リア「ナンセンス・アルファベット」)

以上のパフォーマンスに引き続き投票が行われ、第 1 部では 105 名、第 2 部では 97 名の投票により、以下の通り最優秀賞と優秀賞が決定しました。

第1部

最優秀賞

中国語：道関唯、水野夏希、堀谷あかり、宮崎将弥 [中国学科1年]

優秀賞

スペイン語：柴田明里 [スペイン語圏専攻1年]

第2部

最優秀賞

ポルトガル語：曾根原誠 [スペイン語圏専攻2年]

優秀賞

中国語：辻村優香 [社会福祉学科2年]、湯本悠 [中国学科1年]

また、審査委員会により、以下の二つの特別賞の受賞者が決定しました。

学長賞

日本語：金雪梅 [社会福祉学科2年]

外国語学部長賞

カタロニア語：中島恵理奈 [スペイン語圏専攻2年]

今回の学長賞は、第1部、第2部を通じ最も優れたレシテーションを披露したと判断された出場者に与えられました。

以上の結果発表に引き続き、表彰式、最後に佐々木学長の講評をもって本年度の多言語競演レシテーション大会を盛会のうちに終えることができました。

なお、上記受賞者には、愛知県立大学後援会から副賞が授与され、またその他の出場者にもその健闘をたたえ、参加賞の賞状と同後援会からの副賞が授与されたことをここに付記します。



第1部 最優秀賞

中国語：道関唯、水野夏希、堀谷あかり、宮崎将弥 [中国学科1年]



第2部 最優秀賞

ポルトガル語：曾根原誠 [スペイン語圏専攻2年]



学長賞

日本語：金雪梅 [社会福祉学科 2年]